

糸野ゼミ

高架下プロジェクト

7月8日に安川会長が取り組んでいる命の輝き共生の森計画を行なっている高架下（花博記念公園交差点から久宝寺緑地の一部）を実際に行きました。前日雨が降っていたため地面はぬかるんでジメジメした環境でした。現状は夏ということもあり雑草が覆い茂っていましたが、町の中なのに森林の中を歩いている感じでした。トンボやバッタなど昆虫も多く、安川会長が目指している環境学習の場として最適だと思いました。

環境学習の場とは、石・木・水などの多様な自然素材を使ったふれあいや活用を図れる森づくりのことです。その他にも生駒山の桜の苗を移植樹木した森づくりもしています。今の課題としては大量の石材があり、それをどのように活用していくかということです。

私たち糸野ゼミが今後どのような形で高架下を利用した地域活性に関わっていくか安川会長と話し合っていて決めていきたいと思っています。

